

第 38 回理事会議事録

開催日時 2005 年 11 月 16 日（水） 14 時 30 分～16 時 30 分
開催場所 荏原第五区民集会所 第 2 集会室
出席者 理事 村瀬 禎男、新家 彦司、黒山 昭宣、小泉 鐵夫、
石田 紘三、萩原 貞雄、 以上 6 名
欠席者 理事 柏木 寛、黒澤 東雄 監事 平田健二

開会（14 時 30 分）

1、出席者の確認と議事録署名人の指名

理事 6 名が出席。理事会成立の確認。議事録署名人に黒山、石田両理事を指名。

2、第 37 回理事会議事録の確認

異議なしとして承認。

3、討議事項

今回、審議事項の事前の提案がなく、「現在の SEF の活動に対して思う事」をテーマにして、討議した。主な意見、討議内容は下記。
今後の理事会運営に参考とする。

（1）萩原理事作成の資料により「NPO の実践講座第 3 巻」より引用した世間一般での NPO の財源構成の説明をし、現在の SEF の収入構成との対比を行った。
財源から見た SEF の活動内容の位置付けについて共通の認識を得られた。また今後の進むべき方向性についても議論したが明確な方向性を示す結論には至らなかった。

（2）総合カタログでは表紙に「企業・団体の事業支援」と「シニアに活動の機会提供」をうたっているが、現状ではこれらの理念を十分に果たしているとは言えない。
SEF の部会の内、「コミ研」、「SEF サロン」は会員の満足度からするとそれぞれ所期の目的を果たしているといえるが、「E&C」、「中小企業」、「業務受託」はそれぞれ問題があり、現状、満足できる状態ではない。

（3）「活動の機会提供」中の「活動」は「コミ研」、「SEF サロン」に見られるように収入だけを意味しないが、会員には少しでも収入を望んでいる人が多い。その意味でいわゆる事業と称する分野の充実が望まれる。

(4)「E&C」、「中小企業」、「業務受託」では営業活動が不足している。「業務受託」では最近、ダイレクトメールを出すなどの活動をしているが、直接、お客に出向き営業活動をしないと成果が望めない。待ちの姿勢では受注に結びつかない。営業活動に交通費が支給されるのは評価されるが、営業専任者、成功報酬などの制度も必要ではないかの意見があった。

(5)最近スポット的な人材の需要が増えているが、需要に応える、人材が見つからない為、折角の仕事を見送るケースがある。これに対処する為、人材の要求が出た場合、会員全員にメールで問い合わせることとする。会員は積極的に応募するか、あるいは他の人材を当たり、その結果を返事してもらう等、積極的な対応が望まれる。

4、報告事項

(1)酒井氏はコミ研に入会する旨、小泉理事より報告。

(2)福永氏はE&Cに入会し、水嶋氏は兼務中のSEFサロンに注力する為、E&Cから抜ける旨、石田理事より報告。

5、その他

(1)理事会予定

12月21日(水) 開催予定とした。

閉会 (16時30分)

上記議事の経過と要旨を明確にする為に議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名捺印する。

2005年11月16日

シニアエキスパートフォーラム 第38回理事会

議長 印

署名人 印

署名人 印